

## 平成 15 年度の科学技術振興調整費の配分方針（案）

平成 15 年 3 月 28 日  
総合科学技術会議

平成 15 年度の科学技術振興調整費については、「科学技術振興調整費の活用に関する基本方針」（平成 13 年 3 月 22 日総合科学技術会議決定）及び「平成 15 年度の科学技術振興調整費の配分の基本的考え方」（平成 15 年 1 月 28 日総合科学技術会議決定）（以下「配分の基本的考え方」という。）に基づき、別紙を基本に配分することが適当である。

また、選定に当たって、「配分の基本的考え方」に加え、特に留意すべき点は以下のとおり。

1. 「先導的研究等の推進」のうち、「新たな領域の創成等が期待される先導的な研究開発」については、「配分の基本的考え方」で示した、
  - ア 複数の分野に係る境界領域又は融合的な研究開発を行う必要がある領域であり、新たな領域の創成が期待されるもの
  - イ 新たな先端機器の研究開発等の将来の研究開発の基盤となるもので分野横断的に対応することが望ましいものに関する課題をそれぞれ選定すること。
2. 「新興分野人材養成」のうち、「ライフサイエンス分野を中心とする融合領域」については、「配分の基本的考え方」で示した、
  - ア バイオインフォマティクス(システム生物学を含む)、バイオスタティスティクス
  - イ ナノテクノロジーとライフサイエンスの融合領域
  - ウ ライフサイエンス分野における計測・解析のための機器・手法の研究開発及び利用に関する課題をそれぞれ選定すること。

- 3 .「新興分野人材養成」のうち、「知的財産」については、「配分の基本的考え方」で示した、
- ア 保護・活用に関する、社会科学と科学技術の両面にまたがる領域を対象とするもの
  - イ アのうち、特にバイオテクノロジー分野に重点を置いて実施するもの
- に関する課題をそれぞれ選定すること。

(別紙)

## 平成15年度科学技術振興調整費の配分予定額

(単位：億円)

	14年度 予算額	15年度配分予定額		
		14年度 継続分	15年度新 規選定分	
<u>15年度新規プログラム</u>				
科学技術振興に関する基盤的調査	-	3	-	3
科学技術の現状に関する調査		2	-	2
社会・経済ニーズを踏まえた今後の技術発展予測		0.5	-	0.5
科学技術マネジメントの在り方に関する調査研究		0.5	-	0.5
<u>14年度から継続しているプログラム</u>				
1. 産学官共同研究の効果的な推進	28	43	28	15
2. 戦略的研究拠点育成	40	60	40	20
3. 若手任期付研究員支援	15	18	15	3
4. 科学技術政策提言	4	3	2	1
5. 先導的研究等の推進	63	80	60	20
新たな領域の創成等が期待される先導的な研究開発		68	54	14
自然科学と人文・社会科学とを総合した研究開発		9	6	3
緊急に対応を必要とする研究開発等		3	-	3
6. 新興分野人材養成	19.1	32.1	19.1	13
ライフサイエンス分野を中心とする融合領域		15	9	6
基盤的ソフトウェア		8.1	6.1	2
知的財産		6	2	4
自然科学と人文・社会科学との融合領域		1	-	1
7. 国際的リーダーシップの確保	5	7	5	2
我が国の科学技術活動の国際的リーダーシップの確保		6	5	1
政府間合意等に基づく重要課題協力の機動的推進		1	-	1
<u>経過措置分・評価の実施等</u>	190.9	130.9		
<b>合計</b>	<b>365</b>	<b>377</b>	<b>169.1</b>	<b>77</b>

注)「15年度配分予定額」の欄の「15年度新規選定分」の網掛け部分の予定額については、今般の「平成15年度の科学技術振興調整費の配分方針」において決定。